



# 川東小だより

第4号

令和4年7月15日

新発田市立

川東小学校

## メディアコントロール週間を振り返って

校長 岡崎 功一

先月6月18日(土)～24日(金)の期間、メディアコントロール週間にご協力いただきありがとうございました。今回は、お家の方と相談して、自分が守れるメディアに関するルールを決めて取り組んでいただきました。その前提として、メディア使用の目安として、ゲームやインターネット、動画サイト等使用の目安を1日120分以内としました。

以前、学校によっては「NOメディアデー」など、メディアに触れない日を設定して取り組むという事例などもありましたが、一人一台のタブレット端末の導入等でタブレットを文房具のように使うようになり、メディアに触れない日を設定するのは難しい昨今です。

ある調査結果によりますと、メディアに触れる時間が1～2時間でコントロールできていれば、学力に影響はないとされています。むしろ全くメディアに触れることのない子どもたちよりも学力が高い傾向にあるということも併せて報告されています。このことから、今の時代、メディアに触れないことよりもどう関わっていくことが大切であると考えます。

昨年、タブレット端末が導入されて、授業も大きく変わってきています。大変便利なツールであることを強く感じています。調べ活動をするにもすぐインターネットで検索したり動画サイトを視聴したりできます。かつてのようにパソコンルームまで行かなくてよいです。また、学習のまとめでは、担任がタブレットの画面で全員の振り返りを確認することができます。かつてのようにノートを集める必要はありません。まだまだ有効な使い方は紹介しきれないほどあります。このように便利なツールであるものの、一方使い方によっては危険性もはらんでいます。これからも子どもたちの身近にあり、それと同時にその使い方にも一定のルールを設けていく必要があると思います。学校では、2学期に外部講師を招いて子どもたちにメディアコントロールについてお話をさせていただく予定でいます。

メディアコントロール週間を終えて、振り返りカードに記載されているおうちの方からコメントをいくつか読ませていただきました。「めあてを意識して取り組めたけど、週間が過ぎると元に戻ってしまった。」「メディアコントロール週間が過ぎても続けてほしい。」「視聴時間だけではなく、視聴時刻にも気をつけてほしい」等のコメントがありました。メディアコントロールを含めた生活のスタイルを変えていくということは、子どもでも大人でも難しいことと思います。今回は、各家庭で共通の話題としていただき取り組んでいただいたことで成果があったと考えます。この取り組みは、2学期も3学期も行います。この取り組みを通して、メディアコントロール、メディアとの向かい方についての考える機会としていきたいと思います。今後とも協力よろしく願いいたします。

最後になりますが、1学期も、残りわずかとなりました。保護者、地域の皆様におかれましては、川東小学校の教育活動にご理解ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。もう少しで、夏休みが始まります。子どもたちにとって、安心安全で充実した夏休みになることをお祈り申し上げます。

# チャンス・チャレンジ・チェンジ川東っ子！！

## 4年生 チャレンジ防災キャンプ 命を守る知識と意識

4年生は、6月に防災キャンプを行いました。本年度は、ふるさと未来創造堂の方々を講師に迎え、事前に災害時に困ることは何か、それを解決していくためにどんな行動や備えが必要かを考えました。また、自分たちで「みんなが気持ちよく過ごせる避難所」にしていくためのルールや場所のレイアウトも考えました。その事前学習のおかげで、あかたにの家での防災キャンプでは、子どもたちの主体的に考え、行動する姿がたくさん見られ、頼もしく感じました。命を守る知識と意識は、これからも大切にしてほしいです。



## 6年生 佐渡修学旅行！新たな自分を見つけるチャンス！

6年生の修学旅行の行先は「佐渡」。同じ新潟県内の島ですが、子どもたちにとっては、初めての体験、初めてふれる文化、初めて見る景色など新しい「出会い」がたくさんあった旅になったことでしょう。子どもは、その新しい「出会い」から学び、新しい「自分」を見つけ、成長していきます。修学旅行から帰ってきたときの子どもたちは、とても疲れた様子でしたが、それは徹底的に学び、楽しんだ証拠！修学旅行での学びや思い出が、子どもたちをさらにチェンジ【成長】させるチャンス【きっかけ】になることを願います。

